

(別紙2)

令和5年度教員研修計画 【特別支援学校教諭 基本研修内容】

キャリア・ライフステージ 研修実施機関等 育成指標	基礎力の形成期				基礎力の形成期			
	初任者研修				2年目研修		3年目研修	
	所属校 (150時間程度)	県教育委員会 (3日間)	総合教育センター I(3日間)、II(3日間)、 III(3日間)、IV(3日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	総合教育センター I(2日間)、II(2日間)	所属校 自己研修(5時間程度) 校内授業研修(5時間程度)	センター研修 (2日間)	
教員としての素養	・教員としての心構え ・教職員の福利厚生 ・男女共同参画の推進	・授業に向かう教師の姿勢	・本県特別支援教育の現状と課題 ・服務とその責任 ・社会人としての心構えとコンプライアンスの理解 ・メンタルヘルス不調の要因と対処 ・感情のコントロール ・自己研修の意義と進め方	・自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・採用2年目の教員に期待すること ・自己研修の交流	・自己研修の推進(5時間程度) ①P(2h程度,1回～n回) ②D(随時) ③C(3h程度,1回～n回) ④A(随時) 全部で5h程度を目安	・自己研修の発表と協議	
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・教育課程の理解と年間指導計画の作成 ・消費者教育の進め方 ・環境教育の進め方 ・学校全体で進める道徳教育 ・主権者教育の進め方 ・人権教育の進め方 ・健康教育の意義と進め方 ・食育の意義と進め方	・自立を目指す教育課程の在り方 ・カリキュラム・マネジメントの在り方 ・道徳教育の意義		・発達障がいのある児童生徒の理解と支援 ・重度・重複障がいのある児童生徒の理解と支援			
	教科教育等の専門性	・教科指導の基礎技術 ・教材研究の進め方 ・特別活動の指導の実際 ・ICTを活用した教科指導の実際	・授業交流による授業設計の基礎 ・教科の特質と指導の方法 ・個に応じた指導の進め方 ・教科授業の参観と実際 ・授業の分析	・学習・生活場面におけるICT活用 ・授業づくりの基礎・基本 ・教科指導の進め方 ・授業研究の進め方 ・自作教材・教具の作成と活用の仕方 ・自己研修(教科・領域指導)の進め方	・自立活動の指導の基本		・学習・生活場面におけるICT活用 ・道徳の教育と授業	
	確かな学力を育む授業	・学習指導案の書き方 ・授業参観の実施と振り返り ・研究授業の実施と振り返り ・授業における児童生徒理解 ・評価問題の作成の仕方 ・宿題と家庭学習の在り方 ・学習態度の指導 ・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方 ・通知表の作成の仕方	・指導と評価の一体化に向けた学習評価 ・授業参観と授業研究の進め方	・いわゆる授業づくり3つの視点 ・ティームティーチングの進め方 ・小学校における学力保障に向けた授業改善の実際(授業参観) ・教育実践の課題と改善	・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・特別支援学校における授業づくりの実際(授業参観) ・児童生徒の主体的な取組を支援する授業づくり(授業研究会) ・インクルーシブ教育システム推進の視点からの授業改善	・校内授業研修(年間1回5時間程度)	・学習指導と評価の要点 ・個に応じた指導の進め方
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際 ・学校における生徒指導体制 ・学校行事の指導の実際 ・学級経営案の作成と評価 ・学年経営と学級経営の関わり ・学級組織のつくり方と運営 ・学級活動の指導の実際 ・学級事務の進め方 ・教室環境の在り方と整備 ・部活動の指導の進め方 ・(長期)休業中の生徒指導	・授業を支える学級経営の具体	・情報モラル指導の実際				
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童生徒への対応 ・問題行動の理解と指導の進め方 ・いじめ防止と対応	・授業交流による児童生徒への指導の具体	・個別の指導計画の作成と活用 ・いじめ問題の対応と生徒指導	・いじめ防止と対応の進め方			
	教育相談	・児童生徒のほめ方・叱り方 ・教育相談体制の理解		・児童生徒の成長や発達の理解	・カウンセリング技法の基礎・基本 ・教育相談の進め方			
マネジメント力	学校組織としての連携・協働	・学校教育目標と経営の重点 ・学校の組織と運営						
	危機管理	・学校安全の意義と進め方		・教育情報セキュリティポリシー	・非常災害時に役立つ技術「避難所運営体験活動演習」 ・事件・事故災害発生時の危機管理			
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営 ・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際 ・保護者との面談や保護者会、家庭訪問の進め方					・保護者等と連携した交流及び共同学習の進め方	
復興教育の視点	・「いわての復興教育」の実際		・「いわての復興教育」の意義		・「いわての復興教育」の在り方			
キャリア教育の視点	・キャリア教育の意義と進め方				・特別支援学校におけるキャリア教育の実際		・進路指導の意義と実際	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点	・「いわて特別支援教育推進プラン」の実際 ・心理検査法の実際 ・個別の指導計画等作成と活用 ・合理的配慮の意義 ・交流及び共同学習の意義と実際	・異障がい種特別支援学校における教育活動の実際	・特別支援教育の意義 ・「いわて特別支援教育推進プラン」の意義と方向性 ・多様性と包摂性のある学校の在り方		・望ましい関わりを目指すティーチャーズ・トレーニングの実際		・交流及び共同学習の評価と改善	
ICTや情報・教育データの利活用の視点	研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。							

※ 複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。